

第1回水道料金等検討委員会 会議録(要旨)

日 時	令和4年3月 23 日(水) 午後1時 30 分～午後3時 20 分
場所	上市町役場2階 第一会議室
議題	(1) 上市町水道事業の現状および課題について (2) 今後のスケジュールについて
出席者	委員(敬称略、五十音順): 四十物政憲、伊井謙治、池田嘉津弘(代理)、野越サト子、細川和子 事務局: 中川町長、玉井建設課長、永田課長代理、平井課長代理、加門技師
資料	・第1回 上市町水道料金等検討委員会次第 ・資料1 委員名簿 ・資料2 上市町水道料金等検討委員会設置要綱 ・資料3 上市町水道事業の現状と課題 ・別冊 上市町の水道 ・別冊 上市町水道事業経営戦略(平成 30 年3月策定) ・別冊 富山県の水道 ・別冊 みんなの水道 ・参考資料 新聞記事
会議録	*****
1. 委嘱状 交付	町長より、上市町水道料金等検討委員各位に委嘱状を交付
2. 町長挨拶	町長より、第1回上市町水道料金等検討委員会開催にあたっての挨拶 (挨拶要旨) 皆さまお忙しい中ありがとうございます。 町の水道行政においては、町が昭和44年災害の時に災害を契機に水道課ができて昭和 45 年から水道事業に着手したわけですが、管線の老朽化が進んでおります。人口がどんどん減っていく中で、有収水量が、年々減っていると。そういう中で、管路更新だけはやってかなければならない。更新を計画的にやっていくためには、いつかの時点で値上げというものが避けて通れないという状況でございます。 この後一年、いつ値上げをするのが適当か、最終的には料金のご検討をいただくことになると思いますが、適切なご意見を賜れば幸いです。ここに地図が準

	備されていますが、更新をしていかなければならないところがいっぱいございますので、担当から説明がありますから、よく聞いていただいて適切なご指導を賜りますようお願いを申し上げます。 (町長公務のため退席)
3. 委員紹介	事務局から委員の紹介
4. 委員長選出	事務局から、上市町水道料金等検討委員会設置要綱第5条の規定に基づき、委員の互選となっていることを説明。事務局から案として公認会計士である四十物委員を提案、委員各位に了承いただく。
5. 議事	事務局から、(1) 上市町水道事業の現状および課題について、説明。 (以下、委員質疑応答)
委員長	事務局から説明がありましたが、水道料金を値上げする話をするときに、皆さんに納得していただく形でできればまだいいのではないかと思います。 この水道会計というのは、一般会計ではなく特別会計という形をとっており、何故特別会計かという、一般会計から(税金を繰入金として)ジャバジャバと入れるのはできないと。病院もそうですけど、収入があってそれで支出を補っていくという収支採算制です。裏を返せば、その収支を検討することによって水の料金が決まってくる。そういう形をとるから、地方公営企業という。そうすると今のテーマは、水道料金を青天井で上げればいいんだけどそれは本当にいいんだろうかということを、皆さん忌憚のないところを、質問等をしていただいて、納得…納得かどうかはともかく、今日だけで決定するわけではないので、どう考えられるのかなと。 何かご意見とかはありませんかでしょうか。
委員	図面で分かりづらかったのですが漏水箇所がわりと青とか緑が多いと思って見てたのですが、漏水箇所を掘削して新しい管に替えているのでしょうか？
事務局	計画的に行う更新部分と、突発的にある漏水対応で修理する部分とがあります。 埋まっている管なので、中々対応が大変です。古い管ということはわかるのですが実際に大丈夫かどうかというのは全然(外からは)わからない。
委員	10年計画で、古くなったものを全体に替えていこうということなんでしょうか。 端的に言えば、そのための資金をどうしようかということなんでしょうね。

事務局	そうですね。支出は殆ど決まっていますので。
委員	近隣市町村と比べて上市町の水道料金というのはどういう感じなのでしょうか。
事務局	手元資料の中の「富山県の水道」に県内市町村の料金のグラフがあります。上市町は富山県の平均(であるオレンジ色の棒)よりちょっと高い感じですね。 よく上市町は水道料金が高いと言われるんですけど、これを見るとそこまで特別に高いわけではないのかなという気はするんですね。
委員長	でも、「水の町かみいち」としては高いなと思う。
委員	富山市の料金体制から比べると、人口密度も違いますが、高いと思う。正直、上市はずいぶん高いと思います。
委員長	私も富山市から来ましたけど、高い。
委員	こうやって図面上で説明があって見れば、なんだそうなのかと納得できるんだけど、単純に我々消費者側としては、やっぱり高いというのが、委員長が仰ったように「水の町」なのにどうしてこんなに高いんだろうか、と。
委員長	直感的に思いますよね。
事務局	実際に、井戸を汲み上げて流しているだけなので単純な仕組みなんですけど。 他市と比べたとき、管を一つ通しても、そこから売れる水の量が全然違いますので、上市町だと人がいないところをずーっと管を通していかないといけないので、どうしてもその辺の率は落ちざるを得ないのかなと思います。
委員	一般の家庭の中ではそういう理屈って分からないんだろうなと思います。だから、やはり高い、というのを端的に思ってしまうんだと。
事務局	次回以降、この費用の中身をもうちょっと突っ込んで資料を作っていきたいとは思っています。
委員	料理飲食業組合とすれば、店の許可をもらうときに水道水を汲んで保健所に持っていくと「いいお水ですね、合格です」と言われる。お客さんに飲んでもらうと「本当に美味しい」と言われるんです。だからお店でミネラルウォーターを使っているお店は一軒もないです。水道水がとても美味しいので、水道料金を上げなさい、と言ってい

	るのではないが。私たちのように水で商売している人間と一般の家庭で使っている人たちと、水道料金はどんな感じなんですか。
事務局	今現在の料金体系だと、全く一緒です。基本料金があつて、1 m³使うごとに税抜きで140 円増えるというのは、一般も営業も工場もみんな一緒です。 「上市の水道」という資料に料金表が掲載されています。 営業用も家庭用も基本料金 10 m³で 1,400 円、1 m³使うごとに 140 円。
委員長	統計を取るときに、φ 20mm×20 m³使用が多い？
事務局	「富山県の水道」の資料は、φ 13mm×20 m³/月で調べてあります。
委員長	上市町は 3,190 円。標準的な家庭の比較数値としてはこんな感じだと。 先ほど委員が言われたみたいに、富山市は 2,310 円。だから直感的にはまずは高いと思われるのかな。 ただ、不思議なのが、射水市が 3,410 円とかね、立山町も 3,471 円だよ。氷見とかは山の中だから大変なんだろうね、4,663 円とかね。砺波、富山市、滑川どうしてこんなに安いかな。黒部市は、これ、今度上げると聞いている。
事務局	この統計は一年前の数字なので、今度更新されるものはまた少し変わると思いますが、黒部市は料金値上げを決めています。
委員	舟橋村は(統計が)ないんですか？
事務局	舟橋村は簡易水道なので、「富山県の水道」のデータには入っていないのですが、料金体系で言うと、全国平均ぐらいのところ、上市町よりちょっと高いくらいになります。 立山町はこの春にもう一回値上げをされます。 結局、料金が低い自治体は、管の更新があまりできていない。当たり前ですが、そこを割り切って、今の低い料金を維持している傾向があるのかなと。
委員長	興味本位ですが、立山町は、掘り抜きの井戸だけで水道をやっているの？川からだけ水を取っているの？
事務局	併用です。川の表流水も使うし、井戸もあります。 立山町は大きな断水があつたので、管を更新するために料金を上げると、方針を転

	換された。 安ければいいのはわかるのですが、安いままだとどうしても更新のスピードが遅くなって、いつか大規模な断水が発生するかもという恐れはあります。いつ起こるかは誰にも分からないのでなんとも言えないのですが。
委員長	地方公営企業の考え方は先ほど言いましたが、今全国的に民間委託したらどうかという意見などが出ている。やるやらないの基本は、所有者は誰で、管理者は誰で、水が断水したら誰が走るのかとか、やはり行政がどしっとして責任をもって頑張るというのが、特別会計方式なんですね。これが民間に委託すると、民間が5年後に潰れていたらどうするのかというのから始まって、災害があったときにどうするのか、分担はどうするのかと。 私の意見としては、広域とか民間委託とかではなく、上市町は上市町として行政で水道をきちんと経営した方がいい気がします。判断は難しいですけどね。
事務局	広域化の話は県が主導でしていますが、富山県、特に東部の方は、自分たちのところで井戸を掘ればすぐに水が出てくるので、一緒になってもあまりメリットがない。結局上市町が立山町と水道をくっつけても、それぞれで井戸を掘っているんで、管をつないだところであまりメリットがないということで、全然話が進まない。水がない西の方は、みんなで一緒になってやりましょうという議論ができるんですが、この辺りはその議論がしにくい。
委員長	広域化したとして、料金が高いところと低いところの傾斜をどうするのか非常に難しい問題。だからやはり市町村単位で収支を頑張ってやっていこうということになるのではないかと思う。 全国的に水のないところの広域化を見ても、(広域化したことにより料金が)あるところは高くなり、あるところは安くなるということがある。県単位で広域化したとして、富山県は水があるからそれぞれで独立採算制でやっていかざるをえないのかなと想像はします。
委員	料金を上げるのか(人口の)絶対数を増やすのか、という話になると、総合計画の中で何か(水道について)入れられたりしているのですか。 人口増ということを考えていかなければならないということと、私は工場関係で参加しているのですが、工場の誘致ということを町長も言われていたと思います。そんな中で、工場誘致には(水道料金は)安いに越したことはないと思われそうですが、その二つのいずれかをしないと更新は進めていきづらいという気はします。
事務局	総合計画では、人口を増やすということまでは見込めなくて、減るのをある程度のと

	ころまでで抑えましょうということまでしか言えない。 企業誘致は、本当に頑張って、水を買っていただける方を増やすというのは当然やっていかなければいけないこと。
委員	上市町の中には製薬会社さん、製造会社があるということで、工場協会は 40 数社、街中にもありますし、建設業もあるんですが、特に製造業において、原料として水を考える部分、機械を稼働させる冷却として使う部分、建設業としては洗浄として使う部分、やはり安いに越したことはないのだけれど、安定的な水の供給がストップするというのが一番困るので、そこを維持していくために必要な値上げというのなら仕方がないのかな、というような感じの意見は言っていました。 民間委託にしても、四国のほうかどこかで実際に民間に委託したら、ものすごく料金が値上がったというのを聞いたことがあります。
事務局	民間に委託したとしても、やることは変わらない。後は人件費を落とすしかない。安全担保や管理を考えると、良く考える必要がある。民間企業がいきなり来月からできません、と言われたときに、その後の事業運営を誰がやるのか、やれるのか、という問題も出てくるので慎重に考える必要があります。 資料に添付している新聞記事の老朽管についての記事が分かりやすかったのを見ていただければ。皆さんも一度は読まれていると思いますが、射水工業地域の漏水やそれについて知事が管更新予算を倍にするというものなど。
委員	(記事を) 読んだけど話を聞いた後だとわかりやすい。
事務局	県内の水道料金の比較は一覧表として次回の検討委員会の時に資料として提出します。
委員	一覧表もいいんだけど、いつぐらいにどれぐらいの金額を要するのか、どれぐらいの値上げがあればそれ(水道の安全)が成り立つのかを試算してもらうとなお分かりやすい。 時間をかけるのも必要だとは思いますが、どう持っていきたいかという方針はある程度持っているべきではないかと思います。
委員	道路の融雪は水道水なの？
事務局	地下水です。
委員	上市町は本当に水が豊富なのに、高いって不思議な感じがしますね。

	川にも水がたくさんあって、周りに水が多いのに。
事務局	川の表流水を使うと水を作る費用は高くなります。確かに上市町の水は、井戸から汲んで塩素を適宜入れるだけなので、水を作るお金は本来なら安い。しかし、先ほども説明したとおり、人口密度が低いために、人がいないところに管を通して水を流しても稼げない。
事務局	次回は、今ほど説明したようなことを数字で示したいと思います。 ～休憩～ 経営戦略についての話や、配水管が循環せずに一方通行であることなどを説明。
委員長	ネットで富山市の決算書を見たが、水道料金の売り上げが約 57 億円。上市町は3億円。設備当たりの収入割合は富山市も上市町もそんなに変わらない。富山市は経費のかけ方というかスケールメリットがある。管の工事なども効率が良いと思われる。経費は富山市の方が効率がいい。スケールメリットで、上市町はどうしても効率が落ちてしまう。
委員	私たち検討委員のやることは、たたき台作りだと思います。町長や議員さんたちが最後はどうするか決めることだけど、委員会としてどうするか。 富山市が安いというのがどうしても気になる。
委員長	(値上げが)仕方がないというのは、説明すればみんなわかると思うけど、納得するまでのプロセスが(難しい)。 <委員長作成の資料> 富山市と上市町の3年間平均の比較。 上市町の給水収益は富山市の5%規模。営業費用の率も5%。しかし営業利益は、富山市は+2億円、上市町は△5百万円。上市町の原水費、配水費は比8%。スケールメリットが影響している。 どうして原水費、配水費、総係費が高いのか。委託契約はきちんとしているのかは今回のテーマではなく、内部の監査委員や議会が考えることなので、高いということだけは数字で見られる。 減価償却の割合は5%で、設備のボリューム感はほぼ変わらない。見合う収入も5%。この辺は上市町は変わらない。どうしても営業費用がかかっている気がする。
委員	水道加入金とは？富山市にあるけど、上市町にない？

事務局	水道加入金は上市町も加入者さんをお願いしているが、上市町は収益的収入ではなく、資本的収入に計上している。
委員長	原水費、配水費の高いのを、内容を検討しながら見ていくしかないのかな。
委員	富山市との比較だとわかりやすいですね。
委員長	臨場感がありますね。
委員	言うなれば、旧町村部を集めた広域圏ですよ、富山市は。 私の町内では住宅団地が新しくできているが、新しい住民の方と話しをするが、土地代のことや水道料金のことについて話が出る。水道料金高いと。 上市町に住居する方は、こちらに縁のある方が多い。富山市、上市町、滑川市を並べて検討すると、どうしても滑川市にいかれてしまう。ランニングコストを考えると、負担が気になると思うようだ。人口密度を考えると仕方ないかな。 人口も減っているが、戸数も減っている。街中が少なくなっている。道路が狭いこともあり、郊外に建てられていくのかと思う。
委員長	他の市町村では、(水道料金が)条例で改正された後も、公民館などで説明会をしているところもあれば、何もないところもある。 工場誘致にしても、工場はきれいな水を安定的に求められる。1割アップしたとしても、安定したいい水が保証される方が大事だと思うのではないかなと思う。 水というのは、どういう観点でどう哲学するかと。難しい。
委員	ここ十年、給料が中々上がらないなかで水道料金が上がるのも辛いかな。でも若い方はお金をかけるところが違うのかな。価値観の違いだと思うけど。でも、口に入る水には価値観も何もない。
委員	生活に直結してるから。水がないと生きていけない。
委員長	(水道事業の)資金が減っていつてにっちもさっちもいかないよという中で、この辺で必要料金がどうなる、というたたき台がほしい。
事務局	次回にはそちらの資料を準備して、皆様に説明したいと思います。

事務局	議事(2)今後のスケジュールについて 次回以降の説明。 料金を上げた場合の色々なケースを説明したり、経費の内訳を改めて研究してみたり、やるだけやってみたいと思います。 2回目で具体的な料金の話を、3回目は10月くらいで大体の方向性を固めていきたいなと思います。 日付はまた後で調整させてください。 ご意見をたくさんありがとうございました。 議事終了
7. 閉会の 挨拶	課長、閉会の挨拶